

学校教育目標：心豊かに 未来を生き抜く力を育む

(小さな学校 大きな家族)

重点目標：「ひと、もの、こと」との豊富な関わり合いの中で、考える力を伸ばす

豊かな人間性

- ☆縦割り活動の充実
自主的・実践的な児童会活動の推進
- ☆ルール・マナー・あいさつ指導推進
- ☆インクルーシブ教育の充実

健康・体力

- ☆体力向上、体育授業の工夫・改善
- ☆清潔で魅力ある教育環境づくりの推進
- ☆体験活動、家庭との連携を重視した食育の推進

資質・能力の育成

何ができるようになるか
○育成する資質能力

何が身に付いたか
○学習評価

- ・情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な知識・技能
- ・様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する思考力、判断力、表現力
- ・情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度

- ・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- ・必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- ・受け手の状況などを踏まえた発信・伝達
- ・情報活用基礎となる情報手段の特性の理解
- ・情報を適切に扱い自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を理解
- ・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- ・情報モラルの必要性や情報に対する責任
- ・望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

子どもの実態

素直 男女仲良い 人なつっこい 優しい 幼い
同級生とのつながり、異学年との関わりが深い
多様性を受け入れる広い心がある
規律を守ろうとする姿勢がある
意欲はある 読書好き 体験活動が好き
自分の考えを進んで話せるが、書くことへの抵抗感がある

子どもの発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導

- ・子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握する。
- ・教職員間で情報共有、協働して支援する。
- ・一人ひとりの子どもと向き合う時間を確保し、子どもの理解に努める。

目指す子どもの姿

- ・自分ごととして考える子
- ・ねばり強くやりぬく子
- ・自分もひと大切にしてできる子

何を学ぶか (教育課程の編成)

- 知識・情報を生かしながら、考えを理論的に整理すること
- ・自分の中でわかりやすいようにまとめ、人にわかりやすく伝えるようにする
- 学習指導要領に示される各教科等の内容
- 家庭学習の定着

どのように学ぶか (教育課程の実施)

- ・わかりやすい授業づくり
- ・子どもの学びの筋に沿った単元計画
- ・共に学ぶ中で、お互いを認め合い成長しあえる関係づくり
- ・自分の考えをしっかりと持ち、伝え、学びを深めさせる授業展開
- ・家庭と連携し自ら学習する習慣づけ

実施するために何が必要か (指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)

- 校内授業研究会や校内研修会を充実させ学習指導改善を図る
- ・日々の授業実践から生じる成果や課題を取り上げ、学年・ブロックで研鑽
- ・単元全授業公開、全員参観
- ・外部講師を招き、多面的多角的な指導、助言を受ける
- 地域の教育資源(ひと、もの、こと)整理、活用

安心・安全を守る

- ☆防災・発災教育の充実 ☆交通安全指導の充実
- ☆いじめ防止教育の充実
- ☆学年・チーム対応で児童支援(専門機関と連携)
- ☆情報活用能力を育成し、情報モラル教育の充実

開かれた学校作り

- ☆教育活動の周知
学校、学年、学級だより、クラスルームの活用、HP、学校評価、授業参観懇談会の実施、地域の会合や行事で情報提供
- ☆学校運営協議会の運営と周知